

印西大師 第20番 別所・地蔵堂

- 1 名称 (No.020)〔手引鏡：地蔵堂〕〔資料館：地蔵堂〕〔行程表：地蔵院〕
- 2 場所 印西市別所1012 地蔵寺地蔵堂
竹袋三宝院から道程約830m 狭い歩道があるが、交差点を過ぎるとないので車に注意！
GPS座標 35.8247199674229, 140.1605834021418
- 3 由緒 天台宗 金竜山 宝泉院 地蔵寺
地蔵寺地蔵堂に安置されている木造地蔵菩薩立像は、鎌倉時代前半に造られた仏像で、60年に一度ご開帳される秘仏です。(印西名所図会)
- 4 御堂 大師堂の中に丸彫りの御大師様が1体あり。
- 5 境内 大師堂のほか地蔵堂、仁王門、鐘楼、墓地などがある。東隣は熊野神社。
- 6 写真 (2023.04撮影)



大師堂



御大師様



大師堂



熊野神社の手水石 (ちょうずいし)



仁王門



仁王門 (合成)

7 情報

(1) 印西大師 第20番 地蔵寺 御詠歌 (泉倉寺本による)

茂(しげ)りつる鶴の林をしるべにて 大師ぞ坐(いま)す地蔵帝釋

四国八十八ヶ所 第20番 高野山真言宗 霊鷲山(りょうじゅぜん) 宝珠院 鶴林寺(かくりんじ) 写し

(2) 別所の獅子舞

別所の獅子舞は、約800年前、獅子頭をかぶり、囃子をつけて村内を巡り歩いて悪疫退散を祈願していたものが、次第に猿楽や能楽などの要素が取り入れられ、江戸時代初期あたりから現在の形態になったといわれています。この舞は笛師の囃子にのり、三



匹の獅子(雄獅子・中獅子・女獅子)が舞うもので、「道笛」「讃仰の舞」「愛楽の舞」「鎮護の舞」「降伏の舞」で構成されています。

江戸時代は春・夏・秋の年三回行われていましたが、現在は8月23日に宝泉院、翌24日に地藏寺で演じられています。(印西市HPより)

(3) 瞽女(ごぜ)と手水石(ちょうずいし)

別所の熊野神社にある手水石は、別所村の瞽女キヨと若者中が願主となり、享和3年(1803)に奉納されたものです。瞽女は、盲目の女性旅芸人のことで、歌や物語を聞かせ暮らしをたてていました。近世の諸藩では、越後(新潟県)の高田や駿府(静岡県)などのように瞽女屋敷を与えてこれを保護し、集団生活を行わせ支配する所もありました。前述の高田瞽女は親方と呼ばれる十数人の家持ちの瞽女が座と称する組織を結成し、修行年数の多い瞽女が座元になって座をまとめ、3人くらいの組をつくり、昼は門付け、夜は瞽女宿で村人に聞かせていました。

熊野神社の手水石には常州鹿島瞽女ヒテ、布鎌押付瞽女キヅ、当村瞽女キヨの3人の名と惣深村香取平右衛門、発作村越川五平治、木下宿吉岡七良左衛門の名主などの名が刻まれています。これは、「名主渡り」といって瞽女が名主の家を宿にしていたことを示しています。娯楽の少なかった当時の村人たちは瞽女がくるのを楽しみにしていたようです。(印西名所図会)

